



# こくろうよなご

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



はじめに倉下執行委員長より、「分会の統廃合など組織再編を行つた。関係者の皆さんに感謝申し上げたい。組織の形は出来たが、財政・組織運営が円滑に進むよう引き続き取り組みをお願いしたい。職場の仲間に個別に話を聞くと不平・不満の声を結構聞くことがある。わがままなどと切迫感を進めることが組織の拡大へとつながる」など意思統一をしました。

この数年の職場の大いに変化の一つに社会人採用の方が多く職場に配属されてきたことがあります。前職と比較してJR職場の環境や慣行について、良いことばかり

11月1日、地方本部事務所にて第一回地本組織対策会議を開催してきました。会議では、組織活動の活性化・組織拡大など、向こう一年間の活動方針について参加者全体で確認してきました。

## 第一回組織対策会議を開催

# わがまま？とんでもない！

ではなく疑問や不満を抱たれることも多いのです。そういう声に敏感になるためには、私たち自身が今の職場環境に慣れきつて、上げなければなりません。私たち自身が今のかつた。少鍛えているつもりで大らジョギングなどで多くあつたが、使う筋肉が違うらしく予想以上に

「はて？」と思うようなことでも、「まあいいいか」と流してしまつてはいないでしょうか。繰り返し、自分や仲間の働き方を点検しながら、職場改善、ひいきつけた。登山用具を持たないため、使い古しのジョギングシューズで歩き、リックも登山用ではなきつかった。当日朝方は、かなり冷え込み風も結構吹いていたが、途中の5合目あたりからは雲もと

山で滑落の記事を目にして、またに新聞などで山で滑落の記事を目にしてお隣の住民同士が監視をしあう戦前のような息苦しい社会になることが危惧をされます。また、かなり年配と見受けられる登山客も

## 何歳になつても挑戦者！

結構目についた。何歳になつても、好きなことにチャレンジする姿が羨ましくも感じた。登山から数日後、前々から欲しかった登山靴とリックを「清水の舞台から飛び降りる」気持ちで購入した。まず

レンジを決意している！！



## 監視社会真っ平ごめん！

10月22日、米子コンベンションセンターにて護憲フォーラム主催で、「戦後80年に考える憲法と歴史認識（歴史修正主義の克服と）」のテーマによる講演会が開催されました。

講師は、明治大学で日本近現代史を専攻され、多くの著書を発行されている「山田朗」教授がリモートにて務められていました。

講演の内容が豊富で歴史をしっかりと学んでこなかつた私には、こうして文書で報告することはなかなか難しいものがありました。私なりの理解の上で敢えて要約すればテーマにあるように「戦前・戦後の事実から、現代を生きる私たちが何を学ぶのか」ということだったと思います。

その中でも、戦争・植民地支配・そして、国内における治安維持を成し遂げた装置としてのとして「暴力」という表現が使われていることがやけにリアルに私の心に迫ってきました。

拷問・虐殺という圧倒的な暴力を前に、国外では植

民地を広げ、国内では治安維持法などにより、国家に歯向かうものへの激しい弾圧が加えられてきました。

いつ、何をもって警察に拘留され、拷問されるかわからない、もし自分が、そういう時代に生きていたらと思うと、ぞっとします。

現在、いくつかの政党が「スパイ防止法」の制定を主張していますが、スパイという抽象的な表現で、いつの間にか国家に監視をされ、そういうしているうちにお隣の住民同士が監視をしあう戦前のような息苦しい社会になることが危惧をされます。

また、戦争につながる強敵として、「記憶の忘却」と「歴史の修正・陰謀史観」があると言われていました。

戦後80年、戦争を直接経験した人がいなくなる中で、戦争の悲惨さを忘れず、歴史の塗り替えを許さない努力が求められています。

ついつい楽な方へと走りがちな今日この頃ですが、もっと勉強しなくては、と思い帰路に付きました。